

東光まちづくり推進協議会 会議録 令和7年度 第2回

会議概要	
日時	令和7年12月11日（木曜日）午後6時00分から午後7時30分まで
場所	東部住民センター 2階 大集会室
出席者	委員（13名、正副会長以外は50音順） 原田会長、赤坂委員、阿曽沼委員、五十嵐委員、兼松委員、高橋委員、 中島委員、中田委員、中村委員、本間（健）委員、本間（雅）委員、牧野委員、 増子委員 (欠席 玉田副会長、齊藤委員、徳光委員、林委員、松原委員、横山委員) オブザーバー 菊池 地域まるごと支援員 事務局 地域活動推進課 佐々木課長 東部まちづくりセンター 原所長、武田主査、岡田 その他 社会教育課 小島主幹、跡部
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第 資料1 東光まちづくり推進プログラム 資料2 東光地域のまちづくりの検討と推進について

議事の内容

1 開会

協議事項の検討に入るまで、事務局が司会を行った。
会議資料の確認を行ったあと、社会教育課より「地域学校協働活動の取組」について説明があつた。次に、地域活動推進課より「旭川市地域自治推進ビジョンの見直し」について説明があつた。

2 協議事項

(1) 東光まちづくり推進プログラムの改訂について

資料 1 に基づき、事務局から「東光まちづくり推進プログラム等に係る意見回答書」で改訂素案を集約する旨の説明があった。また、改訂部分のボッチャ体験会に関して事務局から補足説明があった。改訂について委員から発言はなく、資料のとおり確認された。

(2) 東光地域のまちづくりの検討と推進について

【会長】

資料 2 に基づき、いくつかの実行委員から、今年度の活動報告をしてもらう。

【委員（シニアいきがい事業実行委員会）】

今年度のちよだカフェ 1 回目は 6 月 25 日、東光図書館で開催した。実行委員が朗読劇を行った。2 回目は 10 月 17 日、東光スポーツ公園武道館で開催した。動画視聴、講話のあとグループワークを行った。

2 回とも参加人数が多く、認知症に対する興味・関心が高いことを再確認した。来年度も実行委員でテーマを検討し、認知症の理解を深められる場にしていきたい。

【会長】

6 月開催時に参加したが、多くの方が参加していた。参加者の中には認知症の方もいらっしゃるのか。

【委員】

人数は把握していないが、認知症の方が御家族と参加して頂いている。実行委員が、介護施設の職員も多いため、入居者の御家族の方やデイサービスに来ている方の参加が一定数あった。

【会長】

ちよだカフェのような認知症カフェは東光以外も行っているのか。

【事務局】

他地区で行っている状況は把握できていないが、他自治体の地域包括支援センターで行っている印象がある。

【会長】

年 2 回の開催だが、回数は 2 回ぐらいが適当なのか。

【委員】

内容が重複しないもので、数か月前から実行委員で準備し、開催している。現状は年 2 回実施しているが、次年度へ向けた打合せを行う際に、今後の開催回数や内容について協議していく。

その他発言なし。

【委員（東光(U・D)チクリンピック実行委員会）】

8月30日に東光健康ウォーキングを行い、58名が参加した。当日は天候が悪く、コースを短縮して3Kmのコースに変更した。旭川龍谷高校の陸上部の生徒さんが準備体操や歩き方の指導をしてくれた。自分も参加したが、ウォーキングの最中に生徒さんと色々な話をしながら交流ができ、とても楽しかった。世代間交流できる場が減っている中、とても良い機会だと思う。

【会長】

東光健康ウォーキングも何年も続いているイベントなので、これからも人数がさらに増えて続けていってほしい。

その他発言等はなし。

【委員（東光消防団活性化実行委員会）】

豊岡消防団活性化実行委員会と共に8月10日にアモールで行われた「豊岡ふれあい祭り」へ参加した。当日は300名以上の方が来てくださいました。消防車の展示と防火着の試着体験があつたので、子どもたちが大変喜んで写真を撮っていた。消防団を知つてもらういい機会となった。

【会長】

アモールでは初めてか？

【委員】

初めて大人数の場で催し物を行つた。

【会長】

大人も含めて300名か。

【委員】

大人も含め、親子連れが多かった。この活動が、消防団に加入してくれるきっかけにもなれば良いと思う。

その他発言等はなし。

【委員（東光(U・D)チクリンピック実行委員会）】

11月16日にTOKOボッチャCUPを行つた。旭川龍谷高校インターラブの生徒が司会を行い、ボッチャの審判も初めて体験し、良い経験となつた。今後も継続して楽しめる大会になればと思う。

【委員（東光(U・D)チクリンピック実行委員会）】

昨年度は小学生が実行委員会に入り、運営を行なつてもらつていて。今年度は、高校生が主体的に参加してくれたことが、とても良かったと思う。今後、ボッチャ体験会を行つてゐる市民委員会とも連携を取りながら、続けていきたい。

【会長】

ボッチャは子どもでも出来るのか。

【委員】

小学生でも可能。どなたでも楽しめる競技。

その他発言等はなし。

【委員（こども・みらい事業実行委員）】

東光児童センターが中心となって行ったセンター祭りは、東光市民委員会とWAの学校、トントン村を合わせて開催した。参加人数は200人。スタッフは龍谷高校・ボランティアセンターなどから50人集まった。お茶の体験（WAの学校）、モルック体験（トントン村）、お化け屋敷やくじ引き、お好み焼きの提供、大道芸など、子どもたちに楽しんでもらえた。

子どもたちには、東光地域にはこんなことをしている団体があるということを知ってもらえる機会になった。

【委員（茶道を通して心を育む「WAの学校」実行委員）】

パワーポイントを使って、今年度の活動について報告があった。

今年も夏祭り茶会を8月31日に行った。昨年度は100名だった参加者が今年度は150名に増えた。昨年来てくださった方が、今年も夏祭り茶会を楽しみに来てくださいました。

子供たちにとっても緊張感のある良い機会だった。センター祭りでは、フードバンクから盆菓子を提供していただき、盆菓子を碎いて水ようかんを150個作り提供した。レシピが欲しいという声もあり、大変好評であった。

【会長】

参加人数が多く、素晴らしい。スタッフは何名くらいいるのか。

【委員】

夏祭り茶会では（子ども含め）45名。センター祭りは35名のスタッフで行った。

【会長】

スタッフはその都度お願いしているのか。

【委員】

當時いるスタッフがほとんどで、特別な時にお願いするスタッフが10名ほどいる。

【会長】

参加者は年々増えているのか。

【委員】

年々増えている。子どもたちも、「大勢の前で発表する場がある」ということが刺激になり、緊張感もあることで成長に繋がっている。

【会長】

子どもたちにとっても、貴重な体験であると思う。

その他発言等はなし。

3 その他

事務局から次の3点について説明があった。

1. 東光まちづくり連絡会について
2. とうこう新聞第7号の進捗について
3. 第3回協議会日程について

4 閉会